

# 岩手教区報

第380号  
 立教187年8月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3-40  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597



「目には見えねど」

主事・布教部長 権谷正一



とても大きい声では言えませんが、私は霊の存在を信じています。といって、怪談話をする訳ではありません。数年前、ある信者さんが出直しになりました。そして約3か月後に今度は奥さんが急逝されました。このご夫婦の子供さん方は、父亡き後は残された母親に父の分も孝行しようと心を新たにしていた矢先のこと、ショックは計り知れませんでした。ご長男から母親お出直しの連絡を受け、全く信じられない気持ちで駆けつけました。数日前にもお会いし、前日まで家業に励んでおられた奥さんのいつもと変わらぬ眠っているようなお顔を見てみると、そこに居る長男夫婦と姉2人に伝えたいことが浮かんできました。

「お父さんがお出直しになり50日祭を済ませ、これからはお父さんの分もお母さんに親孝行しようと思っていたのに、もうできなくなったと思っていませんか？でもね、まだ親孝行はできますよ」と言ったら、4人は驚いた様子で私に視線を集めてきました。続けて、恐らく子供さん方は知らなかったであろうこのご夫婦が教会に勤めて下さった様々なお徳をお陰で今がある。少なくともご両親は皆さんの幸せを

願って日々月々一生懸命に勤めて下さったと思います。だから、今こうして家庭を持ち、仕事もできて結構にできることを、『親が勤めてくれたお陰です』とお礼を言ったら、親は喜んでくれますよ。親が一番嬉しいのは、子供が親の苦勞を分かりその思いに伝えてくれること、そして兄弟が仲良く力を合わせて前に進んでくれることだと思います。姿を見ることはできなくなりましたが、親孝行はまだできるということとを忘れずに、葬儀を勤めさせて頂きましょう」と結びました。明らかに子供さん方の目が変わり、そして心のこもった穏やかな葬儀を勤めることができました。さて、昨年6月に「全教会おちばがえり」が行われ、多くの方から喜びと勇んだ声を聞かせて頂きました。ただこの1年の間に、参加下さった方の訃報に接することがあり、とても心寂しく思いましたが、先に述べた信者さんの子供さん方に話したことが、そのまま私にも通じることに気づきました。共に道を歩み、同じバスでおちばがえりさせて頂いた感激を、これからの信仰実践に繋げていくことが、生かされている私たちの使命だと感じていきます。姿は見えねど思いは一つ、きっと繋がっているに違いありません。

信仰随想  
 誠心  
 前岩手教区長  
 加藤昌弘

「お姿は拝せずとも」

6月の本部月次祭の神殿講話で、本部員高井久太郎先生は「ご存命の教祖」は本教における根幹の伝えるべき一つとお話し下された。論達にも「今も存命のまま元のやしきに留まり、世界たすけの先頭に立って働き下され、私たちをお導き下されている」とある。以前、中山もと奥様(3代真柱様の実姉)が「みちのだい」に書かれていた中に、「教祖におやすみ願って暫くすると、御寢室から廊下に続いて水がポタポタと続いておちていた。『えらい粗相をしてしまった、はよう拭かなあかんわ』とあわててふきんを取りに行こうとしている時、ふと声が出て『あんたらな、わしが寝ていると思っっているやろうけどな、わしは今海の向こうから帰って来たんや。だから心配せんでいい』という声が聞こえてハッと目が醒めた。」とあった。

世界中にいるようぼくで、日本の時間を考えながら、おさづけを取り次いでいる人はいない。日本が真夜中であっても、昼の所もあるわけで、教祖は一刻の休みもなく働き下さっておられるのである。また今は、海外まで教えが広がり、アメリカ人は教祖に英語でお願い、お尋ねし、おそれく教祖は英語でお応え下さり、ブラジルの人にはポルトガル語でお応え下さっているのではないかと思う。

教祖が現身をお隠しになられた後、「今からたすけするのやで。しっかりとみていよ。今までとこれから先としっかりみていよ」というお言葉がある。今、お姿を拝せないのは残念なことではあるが、お姿をお隠しになっているからこそ、時空を超え、また言語も関係なく「今から世界中を駆け巡り働くのである。今までとこれから先と道の様子がどう変わっていくか、しっかりと見ていよ」ということを、このお言葉は仰っているのではないかとも思う。

ある夜、参拝に行ったら、ちょうど教祖がおやすみになられる時であった。朝は多くの人でお出ましをお待ちするが、その時は数名しかおらず、教祖に直接ご挨拶出来たように感じ、より身近に感じることが出来た。おやすみの時間に参拝するのも是非お勧めである。

東北・北海道ブロック訓練  
 日時 8月30日(金)～9月1日(日)  
 宿营地 山形県舟形町  
 若あゆ温泉あゆっこ村

計報  
 高橋 和子 さん(93歳)  
 盛岡支部・岩盛分教会長  
 令和6年7月8日出直された。

「陽気ぐらし講座」開催報告(7月分)  
 奥州13日(土)岩手沢分教会  
 55人(講師 中田祥浩先生)  
 奥州13日(土)金ヶ崎町中央生涯教育センター  
 24人(講師 中田祥浩先生)

- 行事予定 【8月分】
- 4日 学生会サマーパラダイス(10時)
  - 11日 学生担当委員会例会(19時30分)
  - 16日 夏の勉強会(12日)
  - 16日 青年会例会(13時)
  - 30日 婦人会例会(10時)
  - 31日 災害隊東北・北海道ブロック訓練(9月1日)
  - 31日 少年会例会(18時)



厚生部

「献血ひのきしん」実施報告

去る6月16日(日)、教務支庁を会場に、教区主催の「献血ひのきしん」を実施し、近隣住民29人含む、127人が参加した。午前9時から午後3時まで、移動採血車を配車して頂き献血を行なった。県内各地より献血予定の教友らが次々と来場し、献血希望者は途絶えることがなかった。

庁舎内では、日本赤十字社岩手県支部講師による講習会「防災セミナー(簡易トイレの作り方、災害時の「飯の作り方、災害時の注意点など)」に予定数を上回る受講者があった。そのほかにも、教区婦人会のバザー、「紫波酒造」のお酒、「冷麺」、「レジュイール」のパン販売、さらに、盛岡支部婦人会から昼食として「冷やしうどん」を提供して頂いた。またキッズスペースの設置、「グラフ天理」や「おやさとの四季」の展示も行い、にをいかけの一助となった。

今回の献血希望者は45人。その内400ml献血に37人のご協力を頂いた。なお、バザー、物販などの収益金の一部を日赤岩手県支部に寄付させて頂いた。



青年会

「青年会ひのきしん」実施さる

教区青年会では、去る6月9日(日)、一関市大東町摺沢農村公園を会場に、「青年会ひのきしん」を実施し、青年会員4人が参加した。

午前9時から公園の草刈りひのきしんに取り掛かり、11時半に終了。続いて摺沢分教会に現場を移し、教会前の耕作放棄地5面の草刈りを実施し、13時にはひのきしんが全て終了した。

最後に、現場責任者である鈴木眞浩・摺沢分教会長からお礼の挨拶があり、昼食後解散となった。

「東北ブロック大会」参加報告

去る6月29日(土)、宮城県仙台市のエスポール宮城を会場に、「東北ブロック大会in宮城」が開催され、岩手教区青年会より8人が参加した。

午後2時より開会。吉村勇一・宮城教区青年会委員長の挨拶に続いて、葦澤彦美・宮城教区主事が宮城教区長の挨拶を代読。その後、青年会基本方針「心を澄ます毎日。くほこりを減らし、誠を増やす」と題して行われた、「お話フェスティバル」では、各教区から選ばれた弁士がそれぞれの信仰を熱く語り、岩手からは、小野寺貴宏・一関支部委員長が代表して登壇した。

続いて会場内のレストラ内に移動し、少人数のグループに分かれて「対話」を行った後、参加者全員での交流会が行われ、20時頃解散となった。



婦人会

「婦人会員のつどい」開催報告

教区婦人会は、去る6月30日(日)、教務支庁を会場に「教区婦人会員のつどい」を開催し、婦人会員など156人が参加した。親神様、教祖、祖霊様礼拝の後、婦人会本部からのお祝いの言葉を鈴木眞喜教区婦人会主任が代読し、続いて鈴木主任が挨拶に立った。

今回の集いでは、教理を深く学ばせて頂きたい上から、講師に加藤昌弘・前教区長先生をお迎えし、「十全の守護とおつとめ」と題してご講話頂いた。加藤先生は、かぐらづとめと十全の御守護について、自身の体験を交え、質疑応答も含めて懇切丁寧にお話下さった。



その後、女子青年の活動紹介があり、昼食を挟んで、駐車場ではバザーが開かれた。バザーの収益金は、「能登半島地震」の義援金として天理教災害対策委員会に寄付させて頂いた。



学生担当委員会

「新入生歓迎会」開催さる

教区学生会では、去る6月9日(日)、教務支庁を会場に、「新入生歓迎会」を開催し、7人の学生が参加した。新入生の参加はなかったが、初めて参加した学生もいた中での交流行事となった。

午前10時に開会し、「天理教とは?」「学生会とは?」などの内容を織り交ぜた自己紹介やゲームを行った。

昼食はバーベキューで親睦を深めた後、教務支庁周辺のゴミ拾いひのきしんを行い、午後3時頃閉会した。



学生層育成者講習会

日 時 9月1日(日) 10時  
会 場 教務支庁  
講 師 清水慶政学生担当委員長



道の教職員の集い

「総会及び講演会」開催報告

岩手教区道の教職員の集いは、去る6月29日(土)、教務支庁を会場に、「総会及び講演会」を開催した。

講演会では、吉田守実・八戸学院大学教授を迎え、「地域共生社会の実現と地域における陽気ぐらしを目指して」をテーマにお話頂き、リモートを含め16人が受講した。その後の第49回総会では、令和5年度の活動報告と収支決算報告、そして令和6年度の活動計画と予算案の検討がなされた。総会参加者8人であった。

「夏の勉強会」【8月11日・12日】

日 時 8月11日(日) 9時30分受付  
12日(月) 8時30分開始  
会 場 教務支庁  
対 象 小学生、中学生  
参加費 1200円(全日程)  
600円(1日のみ)  
持ち物 夏休みの宿題、勉強道具、洗面具、風呂用具、他  
申込み 8月8日までに門間道明代表  
世話人(019-647-1201)く。